

## 2019 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 岐阜県立恵那高等学校 ] 担当教諭名 [ 夏目 佳代子 ] ( 英会話部 8名 )  
 相手国・地域 [ モンゴル ]  
 海外学校名 [ Shine Mongol School ] 担当教諭名 [ Lkhamsuren Myagmarsuren ]

■実施教科・時間数について教えてください。

アートマイルに関連した 実施教科・時間数	教科	単 元 名	時間数
	部活動	アートマイルプロジェクト	70

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	The Earth we share (私たちが共有する地球)
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	すべての生き物と地球を共有し、みんなで一緒に豊かな自然を守ろう。 Let's share the Earth with all creatures and work together to save rich nature.
	

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・モンゴルの文化や環境問題について理解が深まった。自分たちの国や地域についても新たな発見があった。</li> <li>・SDGsゴール15を共通のテーマにして学び、世界が抱える課題や自分たちができることについて考えることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期休業や休校措置で活動時間が限られ、意見を深め合うことが十分でなかった。また、日程調整ができず、スカイプで実際に話す機会がもてなかった。</li> </ul>

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> <li>・モンゴルのイメージと、実際の人々の暮らしや学校の様子は違う部分もあるということに気づいた。</li> <li>・環境問題は日本のことだけでなく、世界でも起こっており、自分の行動とつながっていると考えることができた。</li> <li>・国は違っても、環境問題を解決したいという思いは共通だということに気づいた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モンゴルの学校生活や環境問題など、アートマイルの交流でなければ分からないことがたくさんあった。</li> <li>・世界が抱える課題や SDGs について理解を深め、自分とのつながりに気づくことが、生徒が主体的に行動していくことにつながっていくと考えた。</li> </ul>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己紹介ビデオ撮影</li> <li>恵那高校紹介プレゼンテーション、動画の作成。フォーラムで共有。</li> <li>モンゴルについて学ぶ。</li> </ul>	日本の学校について、初めて聞く人にも分かりやすく紹介するにはどうしたらよいか考えてプレゼンテーションや動画を作成することができた。モンゴルの文化について学ぶ中で、イメージと実際は違うこともあるということに気づくことができた。	部活動11
共有 テーマ学習	7月 ～ 10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDGsについて学ぶ。</li> <li>ゴール 15「陸の豊かさを守ろう」を共通のテーマにし、地域の現状、課題、取り組みについて調べたことをポスターにまとめる。</li> <li>ゴールが達成された世界、達成のために大切なことを考える。ポスターと動画をフォーラムで共有。</li> </ul>	自分たちの身の回りの自然環境について理解を深め、それが危険にさらされていることや保護活動が行われていることを知ることができた。環境破壊の原因は人間にあるという気づきから、守っていくのも人間であるという思いをもった。フォーラムで感想をもらったり、日常生活のことなどを交流したりして、生徒たちは喜んでいました。	部活動34
融合 メッセージ作成	11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>壁画に込めるメッセージを考える。</li> <li>壁画の構図とデザインを考える。フォーラムで共有。</li> </ul>	<p>&lt;生徒の振り返りより&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>メッセージをどう表現するのか部内でいろいろ話し合うことができた。</li> <li>今までに調べた地元の植物や動物をデザインに取り入れることができた。</li> </ul>	部活動4
創造 壁画制作	12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>壁画の作成</li> <li>メッセージカード、年賀状の作成</li> <li>メッセージカードと年賀状は壁画と一緒に送った。</li> </ul>	<p>&lt;生徒の振り返りより&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「すべての生き物と自然を共有」というメッセージを表現できた。</li> <li>部で協力して楽しく制作ができた。</li> </ul>	部活動15
評価 振り返り 自己評価	1月 2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの学習を振り返る。</li> <li>相手校の壁画作成の様子を知る。</li> <li>SDGsの他のゴールについて1人ずつ分担して調べ、交流する。</li> </ul> <p>※コロナウイルス感染抑制のために1月末からモンゴルの学校が休校になってしまったため、壁画の作成が止まってしまっている。(3月時点)</p>	<p>&lt;生徒の振り返りより&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アートマイルでモンゴルの生徒と交流していく中で、世界にはまだまだ自分の知らない植物や動物がいるんだと実感した。また、国は違っても、地球の環境問題を解決したいという思いをもっていることは共通なんだと知ることができた。普段の生活の中で海外の生徒と意見を交わして一つのものを作る機会はアートマイルしかないので、勉強になった。</li> </ul>	部活動6

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてついていた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	5	日本の環境問題、特に森林保全や絶滅危惧種について理解を深めたり自分たちにできることを考えたりしそれを絵に表すことができた。
異文化を理解する力	5	モンゴルの生徒が送ってくれたメッセージやポスターを熱心に見て、さらに知りたいという思いをもった。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	4	テーマについて調べたことをパワーポイントやポスターなどにまとめ、伝えることができた。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	4	調べたことや伝えたいことを英語で表現しようと取り組むことができた。実際にスカイプなどでやりとりができるとさらに良かった。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	3	文化や環境問題など、相手国との違いと共通点について考えることができた。
主体的に考え行動する力	3	自分の意見をしっかりともち、伝えられることができるようになってきたが、それを行動に移すことはなかなかできていない。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	5	学年を超えて部員全員で話し合っって壁画のメッセージやデザインを考えることができた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	共通のテーマで学んだことから、世界へのメッセージや壁画のデザインを考えることができた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	—	※壁画が戻ってきてから行う予定。